



“さくらの会”便り

発行責任者	会 長 田中 明
編集責任者	事務局長 上原 栄
Tel.0773-22-7859	

ーリラックスできて、はげまし合うところ、勇気を与えられるところー

Web講習会を開きました 「スマホで顔を見ながら話を！」



10月25日午前、市民交流プラザふくちやまの視聴覚室にて、WEB講習会を開催、12名の会員と講師の綾部市立病院作業療法士古川絵美様と堀江勇太様、訪問看護ステーションほっぴ 理学療法士古川博章様に指導をして頂きました。

近況報告では、3班に分かれて「コロナ禍での生活について話そう」と題して、コロナ禍での過ごし方、困ったこと、コロナ禍になってから辞めたこと・新しく始めたこと等について交流をしました。

WEB講習会の開催前に、本多先生から「コロナ禍で不安がある。外に出られない、イライラする。日々日記をつけることで気持ちの整理を行い、目標を立て、寄り添いながら仕事をやって行きたい」と挨拶がありました。

講習会では、古川絵美様から各個人のスマホ、パソコン、タブレットにZoomをダウンロードして使い方を学びました。

2回目は 2回目は11月8日午前10時から開催、参加者は当事者・家族、賛助、支援会員計15名と綾部市立病院古川絵美様、堀江勇太様の2名 合計17名が参加しました。

講師の綾部市立病院作業療法士古川絵美

様（ホスト）の挨拶のあと、自己紹介・今の気持ちの発言。次に「Withコロナの生活を考える」として、自宅からZoomに参加し、会員と繋がる機会を作る。コロナ禍の中でどのような工夫をしながら健康や幸福を維持して行けるのか考える機会を持つことでの説明を頂きました。



座談会では、テーマ：「生活の工夫」「緊急事態時の情報収集をどうしてる？」について参加者から発言。コロナ禍で変わったことの交流をしました。

最後の歌を歌おう では「うえを向いて歩こう」を合唱しました。



参加者の声

盛り上がるには、うなずくことが必要

【M.Oさん】

初めての経験で、私はあたふたとして挨拶しか出来なかったですが参加出来て楽しかったです。先生方には優しく丁寧に教えて頂き、感謝しています。

今年良く見かけるオンライン会議なども身近に思えてきて、NHKのためしてガッテンも見て勉強しました。

盛り上がるには、うなずく事が必要だとか。次回の座談会は落ち着いて参加したいです。

もっと話ができたら

【T.Hさん】

1回目にしては、良かったと思います。参加者の中には、ほとんど声が聞こえない方が、おられました。事前の調整が必要かと思えます。

内容としては、当事者の方々にもっと話をしていただきかったです。日々の生活で感じていることなどを、コロナ対策に限らずに。歌は、(みんなの声が揃わず)無理なことが分かりました。

まだ利用できない人へも

【K.Aさん】

初めてのWeb座談会少し不安でしたが妻と一緒に参加出来てホッとしております。古川先生のお話を参考にさせて頂きたいと思えます。

慣れればいつでも開催できるのではと思いますが、まだ利用できない会員の方もいらっしゃるのでは、定期的に不慣れな方も一緒に参加することが出来ればと思います。

新型コロナウイルスと共存になると思われるので、色々な集まり方を模索する必要があると思います。

感動しました

【F.Nさん】

1回目講習会が終わった後、一人ではできないので2度目は不参加と伝えていたが、「西村さんのところで一緒にやろう」誘われて参加させてもらいました。古川さんの顔が、スマホに写った時は、感動でした。まだまだ、一人ではできませんが、また徐々に自分一人でするように勉強していきたいと思っています。

良き時間だった

【堀江勇太さま】

大きなトラブル等なく終えたのと、形や内容はすごく、良き時間であったと思います！

またzoomですることでもマスクを外しておられたので表情の変化もわかって良かったです。

明日からの活力に

【古川絵美さま】

コロナ禍でも皆さんの顔を会わせ、繋がれた大きな一歩だと思います。少しでもオンライン活用ができることにより、こうして自宅からでも皆様の近況報告や今後の生活について考える貴重な機会を頂きました。最後の歌でも元気を頂きました。明日からの活力になりそうです。



講師の方から